

令和2年度第6回庁議 会議録

[日 時] 令和2年9月25日（金）8時58分～9時40分

[場 所] 応接会議室

[出席者] 市長、副市長、教育長、参与及び各部局長

総務部総括次長 消防本部総括次長 農業委員会事務局次長 代理出席

[会次第]

1 市長あいさつ

2 議題

(1) 令和3年度予算編成方針（案）について （企画部）

3 協議事項

（なし）

4 連絡事項

（なし）

5 その他

1 市長あいさつ

おはようございます。

令和2度も上半期が終わろうとしているが、本日の議題にもあるように、来年度の予算編成の時期となった。

これまでの成果や課題を十分検証し、「長期総合計画」及び「総合戦略」の目標を達成するためにも、次年度に向け、各部局、遺漏のない予算対応をお願いする。

本日は、令和3年度予算編成方針（案）について企画部より説明をしていただく。

その他、連絡事項があればお知らせをしていただき、本日の庁議は、9時30分に終了することを目標とする。

2 議題

(1) 令和3年度予算編成方針（案）について（企画部）

企画部長	令和3年度の予算編成方針（案）について、説明する。 1ページをご覧いただきたい。本市財政の状況についてである。 本市の財政状況は、現状では健全性を維持しているものの、新
------	--

	<p>型コロナ感染症の影響による市税や交付税などの大幅な増加は見込めない中、令和元年度決算では、財政調整基金残高がこれまでの目安としてきた30億円を下回っている。さらに、9月議会でも答弁したが、9月補正後の基金残高は、約16億5千万円と危機的状況であることを、全職員の皆さんに認識していただきたい。</p> <p>今後においても、市債残高は増加傾向が続くなか、文化センターの建替えや給食センターの建設など、大型事業の着手による多額の財政需要が見込まれており、これからの財政運営には十分な留意が必要と考えている。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>令和3年度当初予算編成方針について、まず、1点目として、第六次新居浜市長期総合計画の着手と新たな第2期総合戦略の視点に基づいた施策の推進を図ることとする。</p> <p>次に、2点目として、歳入に準拠した予算編成を行うこととし、先ほど申した基金残高等を踏まえ、財政調整基金及び減債基金からの繰入金を昨年目標値10億円以下から8億円以下に圧縮することを目標としている。</p> <p>また、3点目として、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症による経済の停滞や、これまでの予測の範疇を超えた自然災害の発生など、これまでの市政運営からの転換を迫られている。アフターコロナを視野に感染症拡大防止の更なる徹底と、停滞していた経済を循環させるための施策や支援を実施し、新しい生活様式に対応する取組をすすめる。</p> <p>3ページから7ページは、第六次長期総合計画の6つのまちづくりと国が示しているまち・ひと・しごと創生基本方針2020のほか、予算編成方針に基づいて作成した令和3年度予算編成要領、8ページは予算編成作業日程である。</p> <p>続いて、3か年実施計画の編成要領について説明する。</p> <p>1ページをご覧ください。</p> <p>まず、1 要望方法について、当初予算1次要求として、3か年実施計画内示額の、各部局の一般財源枠配分内で要望することとしている。</p> <p>また、「特別枠」分については、政策会議及び決裁で決定した事業に係るものとしており、入力期限は10月23日（金）としている。</p>
--	--

	<p>2ページをご覧いただきたい。</p> <p>当初予算2次要求として、(ア)1次要望以降、国県の制度変更があったもの、(イ)特別要望枠事業として、政策会議や決裁で承認された新規事業とし、それぞれ3か年分の要求入力とすることとしている。</p> <p>また、公募審査する補助金(採択分)については、令和3年度のみを入力とし、これらは11月6日(金)までの提出期限としている。</p> <p>今年度についても、昨年同様3次要求期間は設けていないが、2次要求終了後以降に市長指示等特別な事項が生じた場合は、個別に協議することとしている。</p> <p>4ページをご覧いただきたい。</p> <p>2部局の予算編成及び執行方針は、施政方針の元原稿となるものであるため、今回は特に現在策定中の第六次長期総合計画案をもとに作成し、12月18日(金)までに提出をお願いします。</p> <p>次に、令和3年度当初予算経常経費算定基準をご覧いただきたい。</p> <p>経常経費については、昨年同様個別要望(部局総額枠配分ではなく、行目ごとに個別要望)とし、令和2年度予算額を上限として令和元年度決算額を基本に見直しすることとしている。</p> <p>要望日程及び算定基準について記載しているので、確認いただきたい。なお、経常経費の要望日程については、10月16日(金)を提出期限としている。</p> <p>令和3年度予算編成方針(案)等については、本庁議で決定いただいたら、新居浜市予算の編成及び執行に関する規則に基づき、本日付け(9月25日)で通知する。</p> <p>以上で、令和3年度予算編成方針(案)の説明を終わる。</p>
市長	先程の説明に対して、質問等はないか。
加藤副市長	枠配分ということは、対前年でいうと100%になるのか。
企画部長	要望はそうである。
加藤副市長	このような厳しい、来年度の税収がずいぶん下がることは予想されることで、それに対応するのに今年度国の交付金を受けてい

<p>市長</p>	<p>ろいろな事業をしてきたことも踏まえて、来年はもっと厳しい要求基準にすべきではないのか。</p> <p>これに対して企画部、財政はどうか。</p>
<p>企画部長</p>	<p>今回、この編成方針を作るにあたり、加藤副市長が言われたように何%シーリングというものも検討はした。以前もそのような要求の仕方でしたが、結局、要望の段階で各部局難しいということで、最終的には査定の中で落としてきた。今回協議していただいて、シーリングも OK ということであれば、何%で設定するかということについては、再度協議することも考えるので意見をいただきたい。</p>
<p>加藤副市長</p>	<p>今の説明の中で、各部とも難しいということであるが、難しいということはわかっている。ただ、今日参集のメンバーが、その中でいかに、10年先、20年先の新居浜市を見据えた中で、どういうことをやっていくかということ、査定する前に皆さんの方で考えていただかないと無理である。2、3年したら変わるので、それまで待っておけば良いということかもしれないが、責任者として、こういう社会情勢の中で新居浜市がどうあるべきか、将来に向けてどういう風にやっていくのか、第六次長期総合計画の中で11万1千人という目標を定めて、それに向かってどうやっていけば実現できるのかという中で、それぞれ所管する事務の中で無駄になっているもの、今やらなくてもいいもの、どうしてもやらなければならないもの、緊急性のあるものなどについて、プライオリティをきっちりつけてやっていくことが必要ではないか。私は新居浜市に来てまだ半年であるが、例えば10/10の補助金が多すぎる。10/10というものは、要はあげることであり、何ら生産性を求めている。こういうものを見直すということ、確かに過去の経緯があることは承知する。しかし経緯にとらわれていたら、10年先の新居浜市は無くなる。そのような観点で皆さんが責任を持って、枠配分をするならそれでも良いが、その中でスクラップ&ビルドをするという時代に応じた予算編成、事業内容にしていきたい。公共料金や使用料の見直しも当然必要である。原価が高くなったら上がるのは当然である。そういう検討をしていただきたい。特に一般会計からの繰り入れ</p>

	<p>に頼るということは、親のすねをいつまでもかじっていることになる。どうしても採算部分で法律で決まっていることについてはやむを得ない。その他のことについては、自分のところで完結させる、生産性をあげるということでやっていくという考え方で、皆さんは、各部局の責任者であるので、その人が自分の権限、考えでもって将来のことを考える事業としていただきたい。</p> <p>感覚的なもので申し訳ないが、余りにも10/10の事業が多すぎるように感じる。どうしてもしないといけないところはしてもらって良いが、今までしてきた中にも、おかしいのではないかといいものもあると思う。そのような観点で枠ではなくて、シーリングとしてこの際なので、極端なことを言うようだが、10%の減、ただし、新居浜市の場合、外郭団体、例えば、宝くじ、競輪や競馬の協会からの民間の補助事業が多くあるのに、このような助成事業をほとんど利用していない。10%減ったものについては、一般財源、税金ではなく、このようなものを利用するなり、事業所に求めるなどして、これらを取り入れるなどすることで、10%は必ずしも無理を言っているつもりはない。そのような方向で本日出席の皆さんが一致団結してやっていただきたい。</p>
市長	<p>ただいまの発言に対して、各部局から何か意見ないか。</p>
経済部長	<p>やるべきである。</p> <p>10%か5%減かわからないが、シーリングをかけて予算要求させるのが良いと思う。</p>
市長	<p>他にないか。</p>
加藤副市長	<p>相当な覚悟をしないと実現しないと思うので、言うべきことは言っていたきたい。</p>
福祉部長	<p>10%はかなり厳しい。以前5%ということがあったと思うが、その時もかなり厳しかった。福祉サイドでいうと、どうしてもやらないといけない部分、新規ではなく、既存の事業の中で、拡充しないといけない部分がある。その中で10%というのは、厳しい。言われていることはわかるが、出来れば10%は見直していただきたい。</p>

加藤副市長	<p>しかし、例えば、その中に扶助費を分母として入れるのか。本当の義務的経費で、例えば人件費を10%切るというのはできるわけがない。そうではなく、すでにやっているから、出発しているから、やめられないから継続してやらせてほしいという要求が多いはずである。そういうものをやめていただきたい。むこう5年間で10億円かけて、今までに3億円かけているのであれば、3億円捨てれば良い。10億円が無駄にならない。そのような考え方も必要である。事業を縮小して、市民が不便になるようなことをしてくれというわけではなく、職員がしたい事業ではなく、市民の方がしてもらいたい事業をしっかりと見つめなおして、本当に必要なものはやっていただきたい。5%なり10%なり枠については検討していただいても良い、除外経費を作ってもよいが、考え方としては、除外経費については、本当の義務的経費のみ。事業が継続しているから当たり前につくという考え方は駄目である。特に単独事業については。</p>
市長	<p>他に意見はないか。確かに最初の説明であったように、財調が本当に少なくなっている。それを何とかしないとイケない。そのために何をするかということがないので。来年の税収がどういう見込みかはまだわからないのか。今年度の見込みをみて、来年の予算を考えるとか。</p>
企画部長	<p>この前の議会でもそのような質問があったので、税に確認したが、今の段階では何とも。極端に来年いきなり、ということはない。</p>
市長	<p>要は財調をどう増やすか。そのためには、出すものを削るしかない。</p>
企画部長	<p>それ以外の財源を取ってくるか、どちらかしかない。</p>
市長	<p>そうなると頭を切らないとイケないことになるのかもしれない。何か意見はないか。どうか。</p>
教育長	<p>財調というものは、家でいえば貯金ということ。それが、この</p>

市長	<p>前の答弁で15,6億円ということだった。それがどれくらいまでいけば、市の貯金として安泰なのか。</p> <p>目安は30億円。</p>
企画部長	<p>今までは平成16年の災害を基準に、最低30億円は確保しておきたいというのが、これまでの基準である。</p>
教育長	<p>今、シーリングの話が出ているが、これは今年の話なのか。それとも30億円に戻るまでの計画的な話なのか。毎年なのか、どれくらいのスパンで考えて努力していくのか。その辺りはどうなのか。</p>
企画部長	<p>ずっと5%削減は不可能である。考え方としては、まずは、財調を例年並みまでもっていくのか、新居浜市の予算が3か年になっているので、3か年ベースでみるのか。とりあえず単年、来年度だけでもシーリングをかければ、歳出の何%かは財調に回せることになる。そんなに単純ではないが。1年シーリングかけて、その決算で財調がどれだけ戻るか、30億円になれば、翌年以降はそのままとする方法もある。その時の状況による。</p>
教育長	<p>歳出の10%という、この時の歳出というのは、全部含めてなのか。特別会計等も。</p>
企画部長	<p>施策と経常は分けて考える必要がある。</p>
教育長	<p>今言っているのは施策なのか。</p>
企画部長	<p>まだそこまで話は詰めていない。経常もシーリングをするのであれば、以前も、例えば、経常は5%、施策は10%などのやり方がある。経常を10%となると、電気料金を10%など、いきなりは難しい。経常経費全体で何%を目指すなど。施策は事業をやめるという選択があるので、全部を10%減らす必要がない。この事業はやめて、こっちの事業に集中する、ということが出来る。やり方によって、部内全体で10%減らせば可能である。</p>

教育長	要するに、早く15億円取り戻すということか。
企画部長	最低の貯金は確保しましょうということである。
加藤副市長	<p>形式論的に言えばそうかもしれないが、そうではなく、要は「ゼロベース」で見直していただきたいということである。ゼロベースで見直した結果として、そのような数字が出れば良いということである。すべての事業をゼロの視点に立ち戻って、すべて見直していただきたい。これは、ウィズコロナ、アフターコロナの新しい社会生活、常識に合わせていくために、今の事業を見直したうえで、本当に必要なものにプライオリティを付けてやってほしいということである。それがなかなか難しいので、ゼロベースで見直した結果で、10%というものが結果的に出たら良い、ということで受け取っていただきたい。数字で遊ぶのは簡単だが、数字遊びをするつもりはない。要は事業で、本当に市民の方にとって必要不可欠なものを再度見直していただきたい。10/10の話をしたのはそのためである。また、業務委託が余りにも多すぎる。本当に、市でノウハウを持っていないから、専門の方に委託するのは良いが、あまりにも業務委託が多い、10/10の補助が多いというのが、この半年の感覚である。すべてを見通せていないので、もし間違えていたら許していただきたいが、そのようなことを感じているので、ぜひゼロベースで見直していただきたい。これが望みである。これをしないと10年後の新居浜市の姿が描けない。せつかく、第六次の長期の中でいろいろなことをやっている、大規模な施設の改修や新設もしないといけない、そういう中で何をどうしなければいけないかを考えていただきたい。ありとあらゆる方策で、みなさんが今まで培った経験を活かしながら、積極的にいろいろな補助事業を取ってきていただきたい。国庫補助事業をもっと取ってきていただきたい、民間の助成制度を利用していただきたい。</p>
寺田副市長	<p>シーリングの幅や体制を考えるときに、今年執行残もかなり出ると思う。ほかの基金の活用も書いているが、合併振興基金をどれくらい崩すのか等、一度財政課で試算をしていただきたい。その上で、考え方は加藤副市長が言われる通りなので、シーリングを何%かけるのか、財調の取り崩しを0にするのか等目安を立て</p>

<p>企画部長</p>	<p>て、皆さんが納得の上ですることが大切だと思う。</p> <p>昨日も税に確認したが、税収はまだ見込みが立たないということである。執行残も出るだろう。</p> <p>コロナで事業を振り替えているものもある。ただ、事業数だとかなりあるが、金額で言うと積み上げてみても何億円も出る執行残ではないと思う。</p> <p>それを出すのであれば、各部局で今年度の予算で執行残を財政課と協議して、早急に出していただくことになる。</p> <p>あとは、何年か前に全部見直して出したのだが、最終的にひっくり返された。それをやられると、財政課の職員も相当努力して元に戻ることにになるとちょっと。やるからには、全庁でその気持ちでやってもらわないといけない。</p>
<p>経済部長</p>	<p>要求ベースでやるべきである。</p>
<p>加藤副市長</p>	<p>要求ベースで責任者である皆さんが決断してきちんと決定してほしい。どうしてもという場合は市長のところに行くのも良いが、皆さんが実質の責任者なので、その人の考え方次第でいかようにも動く。ただ、職員のことを思うと可哀そう等いろいろあるとは思う。しかし、第六次長期計画の10年先の価値観を皆さんで共有していただきたい。ぜひゼロベースでの見直しをしていただきたい。</p>
<p>参与</p>	<p>各部局の枠配分の中での、優先順位を皆さんできちんと考えていただきたい。なかなか難しいと思うが、公園の草刈りと道路の舗装のどちらを先に取るか等。当然市民要望もあると思うが。部局の中での事業のどれを優先するべきか、ということ。各課から上がってきた要望について、枠の中に納まっているから良しとするのではなく。また、投資的な考え方で、単年度で見るものもあるが、学校給食を一緒にさせていただいたが、センターは、今年は20数億円かかるが、今の維持管理を考えると毎年1億円くらい減る。一時の投資はあるが、先を見ると減っている。また、お金の流れを考えると、市内の中でお金を回すと税収で返ってくることもある。例えば、上下水道のことであれば、汚泥の処理について、市外にお金が流れているものを、市内で回せる、あるいは</p>

<p>企画部長</p>	<p>もう少し安くなるようにできれば、ということも含めればで、最初はお金がかかるが、将来的に戻ってきたり、回ったりということもある。2点、優先順位と投資的な考え方を持っていただきたい。</p> <p>当面、今年の決算見込みや収入見込みを踏まえて、財源がどうなるのか調べて、それに基づいて来年どうするのか、シーリングをかけるのか、かけないのか、考えていく。</p> <p>おそらく決算見込みを出しても、今の状況から、先ほど加藤副市長も言われたように、ゼロベースからの見直しということになれば、シーリングをかけるということは決定していただいた方がよい。いくらシーリングをとというのは、決算等もあるので、見直さなければならない。協議させていただきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>対象経費等についても考えていただきたい。</p> <p>今まで一度も手を付けていないが、維持管理費はいくらくらいあるのか。余っているのも相当あるのではないか。予算以内については全部認めてきているので、それだけゆとりがあるのではないか。ここは一度見直してみる必要があるのではないか。これについては、市長の査定が上がってこないのを見たことがない。財政課のほうでどれだけ切り込んでいるのかわからないが。一度各部局とも見直していただきたい。</p>
<p>経済部長</p>	<p>経常の見直しはしていない。</p>
<p>加藤副市長</p>	<p>財政課には性質別の各5年くらいの刻みでどれくらいの伸びになっているのか、資料として出してもらっているようにしている。</p>
<p>市長</p>	<p>そのようなものも含めて整理をして、シーリングとどれくらいかけるか等お願いしたい。それではまず整理をお願いしたい。</p> <p>他になにか意見はないか。</p> <p>今回がチャンスである。切れるものは切る。ぜひ大胆にやっていただきたい。</p> <p>これについては、企画部財政課のほうで資料を作ってください議論したいと思う。</p>

--	--

3 協議事項
(なし)

4 連絡事項
(なし)

5 その他

市長	他にないか。
危機管理統括部長	新居浜市国土強靱化地域計画については、皆様のご協力のおかげで、8月末で出来上がった。現在印刷をしているので、出来上がったら配布させていただく。
加藤副市長	コロナ関係の臨時交付金については、予算をたくさん立てているので、それについては、きちんと執行していただきたい。残すことは一番無駄なことである。無駄に使えということではなく、必要なところに回って新居浜市内でお金が回るようにきちんと使っていただきたい。繰り越しすべきものについては、企画部と話をして繰り越したら良いと思うが、今年中に使えるものについてはしっかり使って、新居浜市内でお金が回るようにしていただきたい。
市長	他にないか。 ないようであれば、私から一点、第六次新居浜市長期総合計画については、これまで庁内策定委員会等において、各施策について検討作業を進めていただいております、計画の策定作業も最終段階となっている。 現在パブリックコメントを実施しているが、各部局において

	<p>は、パブリックコメントでの意見を踏まえた計画の修正等、引き続きご協力いただきたい。</p> <p>他になければ、以上で令和2年度第6回庁議を終わる。</p>
--	---